



しかはま自然観察会

のらえもん

『 人も 自然も みんな友だち 』

2024 年度

No. 7

2024. 09. 08

第7回活動 稲刈り体験とぶどう狩り

全身から汗が噴き出して来ました。首に巻いたタオルはすぐにびしょりになりました。

今までで、一番蒸し暑い稲刈りになりました。

それでも、なが〜い稲穂の列を全部刈り取りました！

「ヤッター!」、達成感をみんなで味わいました。

子どもたちはコンバインに乗せてもらい、大喜び。

初めてのぶどう狩りでは、巨峰をお腹いっぱい味わいました。

1, 日 時 : 2024年9月8日(日) 全日

2, 天 気 : 非常に蒸し暑い日でした。

気温 33℃

田んぼの表面 38℃

5cm下の土 33℃

2, 場 所 : 稲刈り

宅間農園

茨城県常総市大生郷新田町1558

ぶどう狩り

瀬尾果樹園

茨城県つくば市上菅間952

3, 交 通 : ヨツバ観光バス 中型 20人

自家用車 3 11人

4, 参加者 : 総数 31 内訳 大人 18

中学 1

小学 6

幼児 2

スタッフ 4

5, 活動の様子

とにかく、蒸し暑い日でした。

額からの汗はもちろんのこと、ぬぐってもぬぐっても流れ出てくる汗でタオルはた

っぷりと水分を含んでしまいました。

それでも皆さんは、稲刈りを続けました。

ザクザク・ザクザクと稲を刈る音。刈った稲をわらで縛りバサッと置く音。この繰り返しで31人による総合力となって、予定の稲を全部刈り上げてしまったのです！

熱中症を訴える人は、一人もいませんでした。

収穫の喜びとここまで育ててくれたありがたさの気持ちが、勝っていたのだでしょうね。

のらえもんのみなさんが刈り取った稲束は、宅間さんの息子様が運転するコンバインで脱穀され、粃となって軽トラに積み込まれました。

その後、3人の男の子はコンバインに乗せてもらい、収穫体験をさせてもらいました。貴重な体験になりましたね。

○ 田植えから、稲刈りまで

5月12日の田植えから9月8日までの稲刈りまで、約4ヶ月です。

5月12日には、小さく弱々しい苗を3～5本植えました。

9月12日には、稲株は20～30本に増えていました。

稲のスゴイ力は、これです！

1本の苗が、4ヶ月もすると、1本の回りに同じ様な茎が10本も成長してくるのです。これを分けつといいます。

では、1本の茎にどのくらいの実（粃といい、種です）がつくのでしょうか。

9人の保育園の先生や子どもたちに数えてもらいました。

117 76

110 82

120 101 合計 824

70 103 824 ÷ 9 = 91, 5

45

1本の茎に、約91, 5の実がついていることになります。

100の実がついていると、豊作といわれています。

ですから、宅間さんの田んぼは、今年も豊作とっていいようです。

それでは、まとめてみます。

平均して1本の茎に100粒の実がなり、1株は20本の茎にまで増えるとします。1株からどのくらいの実を収穫できるかというと、

$100 \text{ 粒} \times 20 \text{ 茎} = 2000 \text{ 粒}$

1合は、8000粒ぐらいです。

$2000 \text{ 粒} \times 4 \text{ 株} = 8000 \text{ 粒}$

つまり、4株刈ると、1合になる。

毎日食べるご飯は、1合でお茶碗二杯分ありますから、

お茶碗1杯分は4000粒、稲2株分にあたります。

今日は、お茶碗何杯分を刈り取ったのでしょうか。

家族で夕飯を食べながら、「今日は、新米が美味しいから、4株分、食べちゃった」という声がきこえてきそうです。

○ 田んぼの生き物

稲を刈っていると、大小たくさんのカエルが動き出します。

それを見た子どもたちは、サッと手を伸ばしてつかまえたり網をかぶせたりしていました。

次の3種類のカエルが多いようです。

* アマガエル

田んぼで育ち、カエルになると
畑・庭・里山へと移動します。
吸盤があり、高いところへ
よじ登っていきます。



* トノサマガエル

田植え前の水苗代で産卵して
いましたが、田植え機の普及で
激減のようです。関東では、あまり
見られないようです。



* トウキョウダルマガエル

水田に粘着性のある卵の塊を
うみます。雄は、あごの両脇の
声のうをふくらませて鳴きます。
関東で多く見られます。



○ ぶどう狩り

筑波山が大きく見える麓に、瀬尾果樹園がありました。

まずは、瀬尾様からぶどう作りの様子を話してもらいました。

ぶどう作りで一番困ることは、熱（高温）・カメムシ・雨（台風）です。

熱（高温障害）で、巨峰は完熟しないということです。袋を破ってみると、実がポロポロ落ちてきました。さらに、色づきが悪くみずみずしさがありません。

カメムシは、実の甘い汁を吸ってしまうため、売り物にならなくなるようです。

雨や台風は、ぶどうの木を傷めたり実に病気が出てくるとのことでした。

無料で開放してくれた果樹園で、話しを思い出しながら巨峰をいただきました。

白い袋を開けると黒い大きな粒が実っています。ほおばると、あまい果汁がのどから全身に広がり、稲刈りの疲れを癒してくれました。

6, ふり返りの感想

○ 今日は出来ないと思っていた。ぶどう狩りが出来て良かった。

カメムシや台風の影響もあったけど、ぶどうの味はおいしかった。

いねかりでは、水がなくてもカエルがいておどろいた。

いねかりは カエルがぴよこぴよこ 大群だ

道の駅 入ってみれば いいにおい

ぶどう狩り 見上げてみれば つり下がり

ぶどう狩り 宝さがしは 順調だ

北区中学1年

- 田んぼの中に入ると、まだすこししめっていました。
稲刈りではたくさん稲をかれたので、よかったです。また、コンバインにのせてもらえて、楽しかったです。
コンバイン 初めて乗れて うれしいな

新田小5年

- ぶどうをいっぱい食べて、きれいながありました。
いねかりで、かえるがかぞえられないくらいいました。

新田小1年

- 日差しが強い中での稲刈りでした。
大変でしたが、とても良い汗をかきました。そして、改めて農家の方の大変さを実感した日でもありました。
子どもたちも田植え・稲刈りを経験し、古高先生のお話を聞き、お茶碗一杯のごはんのありがたさを感じられたのではないかと思います。
ありがとうございました。
暑い日に みんなで稲刈り 光る汗

鹿浜こども園 母

- いねかりがあって、うれしかったです。
ぶどうをいっぱい食べて、おなかがいっぱいになりました。
いねかりし ぶどうをたべた のらえもん

東伊興小1年

- カエルをたくさんつかまえたのがたのしかった。

年長

- 5月に田植えをして4ヶ月、立派な稲になっていたことに驚きました。
また、1本についている実がとても重く、穂がたれていることが良く分かりました。少しの作業でしたが、大汗をかき、重労働であることを身をもって体験させてもらいました。
農家の方々には感謝でいっぱいです。
金色の 頭をたれる 稲穂かな
ぜいたくな おいしいとこだけ ブドウがり

鹿浜こども園 母

- 田植えには参加できなかったのですが、稲刈りには参加でき、大汗をかきながらも楽しく稲を刈ることができました。
今年は特に、米不足のニュースが連日流れ、と同時に、農家の方々が1年をどれだけ苦労しながらそだててくれているのか（ブドウ園の方も同様ですが）改めて実感しました。
家に帰ったら、今までとは違う思いで食べると思います。
古高先生をはじめみなさまに感謝です。
ありがとうございました。
子カエルが 短くなった 稲を飛ぶ

上沼田保育園

- 久しぶりに参加させていただきました。

宅間さんやぶどう農家さんのお話を伺い、農作物ができるまでに沢山の時間と労働がかかっていることを知り、農家さんの大変さを感じました。

そして、今まで以上に、日々感謝をしていただきたいと思います。

手をかけた 大地の恵み 感謝して

上沼田保育園

- 米農家の方は、1年中何かしらの仕事があり、米を作るための下準備が大切なことがわかりました。

園で植えた稲の実の付き方の差は、ていねいに育てている事との違いがわかりました。

金の波 秋の実りに 心踊る

加賀保育園

- 久しぶりの稲刈りに、気合い十分でのぞみました。

人の力ですべての行程を行っていた昔に思いを馳せながら、稲を刈りました。

そして、農家の方々のご苦勞とありがたさを感じ、今まで以上にお米を大切に食べようと思いました。

稲刈り後 おにぎり前に 手を合やす

加賀保育園

- 前回の田植えに引き続き、今日の稲刈りも初めての経験となりました。

稲穂4束で1合のお米の量にしかないと教えていただき、本当に感謝してごはんをいただきたいと反省しました。

楽しい一日を、ありがとうございました。

稲と青空（そら） カエルも跳ねる 耕耘機

中央本町保育園

- 田植えの後、年長組の先生に聞くと、田植えはしないで野菜作りに力を入れるとのことでしたので、我が家で「米作り」にチャレンジしました。

やっと穂が出てきた所です。黄金色になる時が楽しみです。

ぶどう狩りも、楽しくおいしかったです。

黄金色 たなびく稲穂 収穫の時

中島根保育園

- 分けつが進んで立派に育った稲をしっかり握り、ザクザクと刈るのは気持ちよく、汗をかくことも気持ちよかったです。

わが園のいただいた苗は分けつが進まず、育て方の難しさを感じました。

子どもたちとハサミで刈れそうです。どう体験させてみようか・・・。

今日の経験を活かして伝えたいです。

稲刈りも カエルとたのしむ 子どもかな

吹く風に なびく稲穂の 美しさ

切れ味の 鎌の切れ味 小気味よい

いりや第二保育園

- サクサクと刈る稲の穂は重たくて株から飛び出すカエルの親子 古高 利男